

ICT 教育 うえのはら

～上野原の GIGA スクール～

No. 5 令和3年3月

上野原市教育委員会学校教育課 Tel 62-3408

GIGA スクール端末による一斉ログインテスト

なぜ一斉ログイン？

令和3年度の GIGA スクール構想の円滑なスタートのため、ネットワーク環境(ログインの状況やインターネット回線速度など)を評価。

試行方法と結果

【方法】 3月8日(月)、市内小7中学校の児童生徒による一斉ログイン。

【結果】 ログイン数は市内7校で約100にとどまり、ネットワークが利用できない端末が多く、約90%の端末がインターネットに接続不可。

原因と対策

【原因】 サーバで設定したセッション数(ユーザが同時接続できる数値)が少ないため。

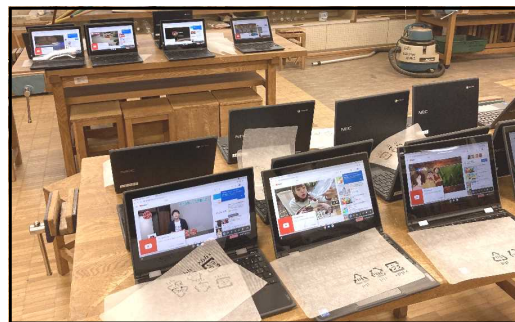
【対策】 セッション数を、理論上可能な範囲で多く設定。

【予備テスト】 サーバの設定変更後の3月10日(水)上野原中学校で接続テストを試行して120台全てでの一斉ログインと動画再生までを確認。

再一斉ログインの方法・結果・考察

【方法】 3月12日(金)、西小・上小・西中・上中で一斉ログインと動画視聴。

【結果】 4校で600台がログインでき動画視聴もできました。写真は全端末で動画コンテンツ再生中の様子。またインターネット回



線速度は、上野原中学校において 1.8Mbps を確認。

【考察】 3回の試行を経て、600台の端末でログインから動画視聴可能まで確認できました。上野原市内全端末の半数ではありませんが、GIGA スクール端末を利用した4月からの実践への見通しが得られました。今後は他市町村でネット利用が本格化して県クラウドへの利用が集中することによる接続遅延と学校で全教室から常に安定したネットワーク接続の実現のため、継続してインターネット接続方法の検討と改善をしていきます。

(裏面へ続きます。)



文部科学省から、ICT の活用にあたって児童生徒の目の健康などに関する配慮事項が公表されましたので、その一部を紹介します。

利用時の目と画面との距離・定期的な休憩・明るさの調整等

・端末を使用する際に良い姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせて、目と端末の画面との距離を 30 cm以上離すようにすること(目と画面の距離は長ければ長い方がよい)。



・長時間にわたって継続して画面を見ないように、30 分に1回は、20 秒以上、画面から目を離して、遠くを見るなどして目を休めることとし、端末を見続ける一度の学習が長くならないようにすること。

・画面の反射や画面への映り込みを防止するために、画面の角度や明るさを調整すること。

・部屋の明るさに合わせて、端末の画面の明るさを調整すること(一般には、夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用する際よりも、明るさ(輝度)を下げる)。

※ Chromebook の「夜間モード」設定方法

Chromebook の画面右下の時刻を選択すると、「夜間モード」のアイコンが見つかります。これを選択すると、夜間モードとなり、ブルーライトが軽減されます。また、設定から「デバイス」→「ディスプレイ」を選択すると、「日の入りから日の出まで」など、自動的に夜間モードとなる「スケジュール」が使用できます。

・睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され寝つきが悪くなることから、就寝1時間前からは ICT 機器の利用を控えるようにすること。このため、教師が家庭学習を課す際にも、平日夜に長時間の ICT 機器利用につながることを避けるよう、家庭学習の課し方に工夫・配慮すること。

